

ゆりはま議会

第58号

平成30年5月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



新年度予算に附帯決議

一般質問 CCRC構想の方向転換を

専決処分の承認を否決

8

14

21

「中部地震からの復興」

(四ツ手網復旧完成式)

おもな事業

3月定例会は、8日から22日までの15日間の会期で行われました。
平成30年度当初予算は、予算特別委員会を設置し、審査を行いました。
平成30年度当初予算18議案をはじめ、平成29年度補正予算8議案、条例改正、人事案件など30議案、議員提出議案(意見書)1件を審議し、原案どおり可決しました。



家庭での子育てを支援

家庭での子育てに対して、1歳6か月になるまで、月3万円を支給（条件付き）

2518万円



認定証の授与

ゆうゆう、ゆりはま

輝く人物や景観、特産品を情報発信し、まちのブランド力を高める

2524万円



防災行政無線の更新

災害時に迅速に対応するため機器を更新

8694万円

平成30年度の

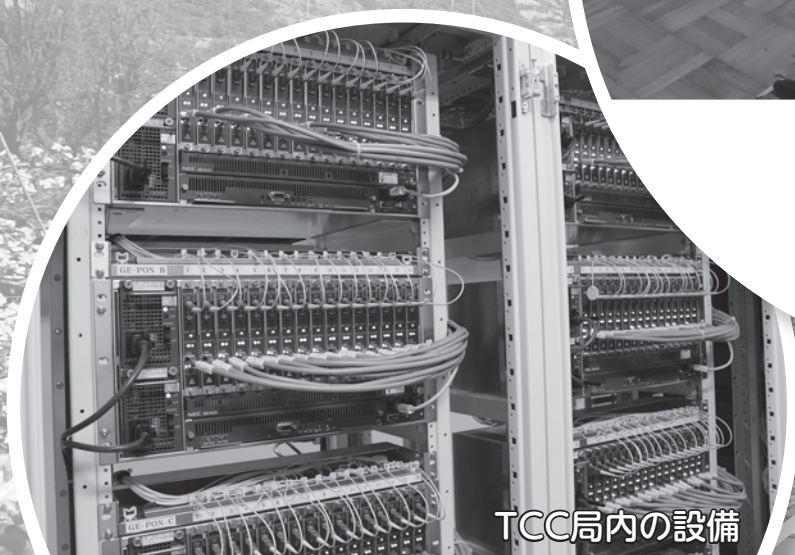


泊歴史民俗資料館

文化財の保存、保護

貴重な漁具の冊子を作成

211万円



TCC局内の設備

情報通信設備を更新

高速通信に対応するため老朽化した設備を更新

1億4041万円



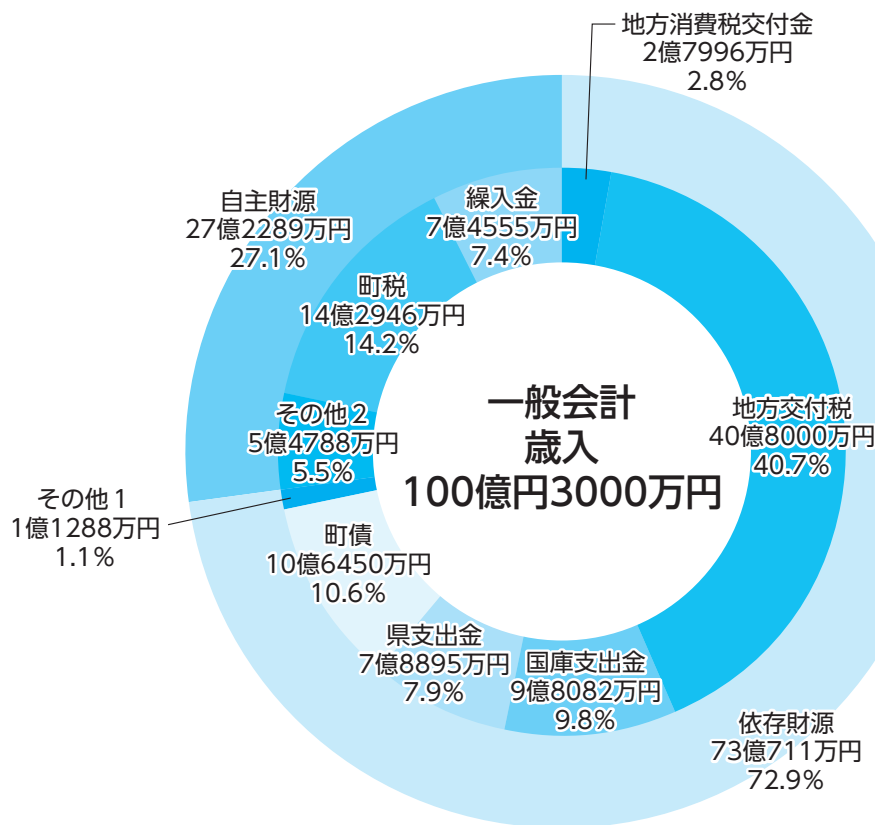
IBAコープを改修

松崎駅前に多世代交流施設を設置

地域住民と移住者が集う施設を開設

8180万円

に 積 極 投 資



平成30年度一般会計当初予算は、総額100億3000万円で、前年度と比較して23億2000万円の大幅な減額となっている。

歳入

歳入では、新中学校の建設に係る事業費の減少などにより、町の借金である町債が昨年度より18億6790万円の減額となっている。
3は地方交付税などの依存財源にたよっている。
引き続き、厳しい財政状況となっている。

用語説明

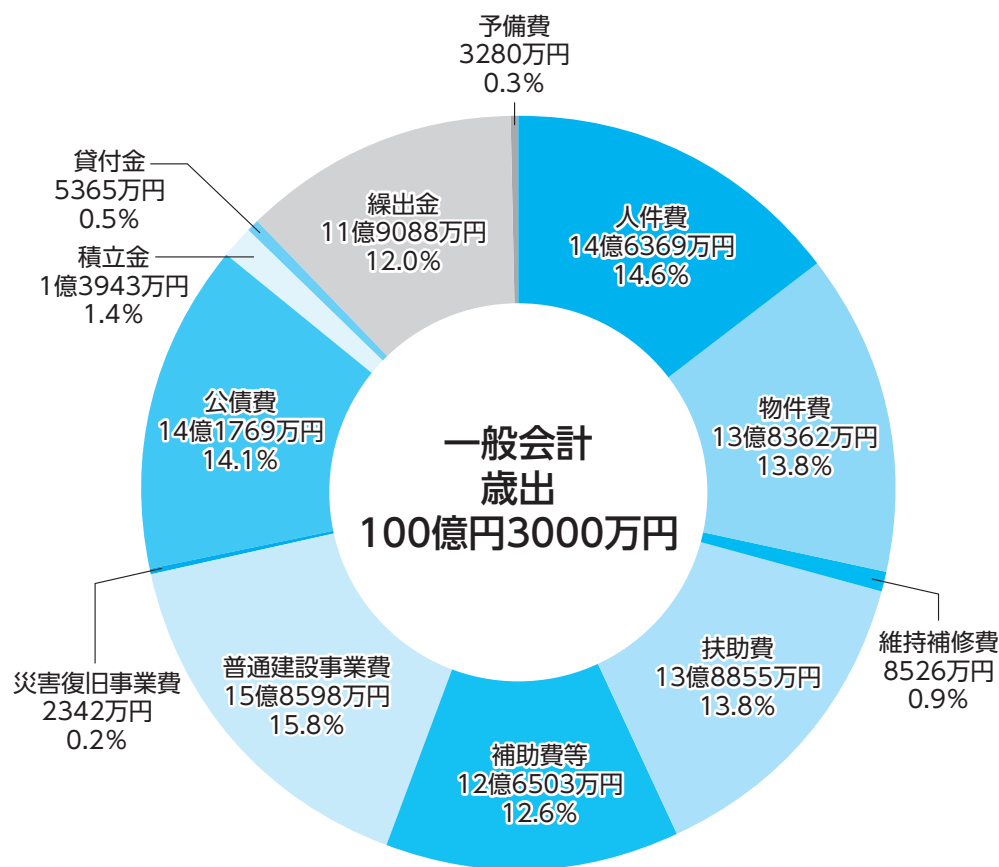
- 自主財源 町に皆さんが納めるお金
- 依存財源 国や県からもらえるお金
- 繰入金 貯金を取り崩して、支払いにあてるお金
- 国庫支出金 国から使いみちが決められたお金

町税予算額の前年度比較

町 税	税 目	30 年 度	前 年 度 比
	固定資産税	6億2410万円	△1615万円
	個人町民税	5億8008万円	1872万円
	法人町民税	4287万円	125万円
	そ の 他	1億8240万円	658万円
合 計		14億2945万円	1041万円

平成30年度 一般会計予算

地 方 創 生



歳出

歳出では、新中学校建設工事、公債費、扶助費が昨年度より24億6825万円の減額となっている。
地方創生関連予算では、ゆうゆうゆりはまや、グラウンド・ゴルフの国際化、松崎駅前拠点整備などの予算を積極的に計上している。

主な特別会計予算

会 計 名	30 年 度	前 年 度 比
国民健康保険事業	18億2180万円	△3億5223万円
後期高齢者医療	1億7964万円	978万円
介護保険	18億2965万円	△7681万円
温泉事業	2925万円	2196万円
下水道事業	10億3963万円	△5877万円
農業集落排水処理事業	1億8615万円	△69万円
簡易水道事業	1億5732万円	9716万円
国民宿舎事業	事業収益	3億 580万円
	事業費用	2億9171万円
水道事業	事業収益	1億9614万円
	事業費用	1億9096万円

用語説明

■物件費

賃金、旅費、委託料、交際費などの消費的経費

■扶助費

福祉手当、児童手当などの経費

■繰出金

特別会計に支出されるお金

■公債費

町の借金返済に使うお金

平成30年度 予算特別委員会

平成30年度一般会計及び各特別会計・企業会計の当初予算を、予算特別委員会を設置し、審議しました。

数多くの質疑がありましたので、その中の一部をお知らせします。

耐震設計の必要性は

☆羽合西コミュニティ施設の旧南側校舎の耐震設計を行う。



耐震化を予定（羽合西コミュニティ施設）

問

耐震化をする必要はあるのか。
建物は築50年を過ぎ、

答

平成29年度に耐震診断を行った。古い建物だが、放課後児童クラブやセンコースクールファームが利用しており、耐震設計を行いたい。

問

耐震設計が遅い。鳥取県中部地震から2年も経っている。地震のときの建物の状況は。

答

外壁に小さな亀裂があったが、その年度内に修繕した。

急がれる

検討委員会

☆中学校統合による跡地施設の利用検討委員会を、平成29年度に開催を予定していたが、1度も開催されなかった。

平成30年度に、委員会を3回開催予定。

問

委員会が立ち上がっていないのは大問題。どういふスケジュールで委員会を開催するのか。

答

平成29年度に開催できなかったことを深くおわびする。スピード感をもって十分議論し、年内に方向性を示していく。

対策費は十分か

☆有害鳥獣の被害対策として、電気柵などの整備や、捕獲に係る経費の助成などを行う。

平成30年度は、新たに狩猟期間（11月から2月）の活動についても、捕獲奨励金を支払う。

問

平成30年度の助成の内訳は。

答

捕獲奨励金が276万円。狩猟期間分の30万円も含んでいる。出役報奨金は65万円。柵の設置に451万円。

問

昨年、予算不足のため、柵の設置を断られたケースがあった。予算は十分に計上してほしい。

答

予算に余裕は見えている。国の補助事業もあるので、要望に応えていきたい。



道路をわがもの顔で歩くイノシシ

先行き不安な事業計画

☆「生涯活躍のまち」の実現に向け、松崎商店街再生事業、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）の事業計画・基本設計、移住体験ツアーの実施などを行う。

問 サ高住の基本設計は、実施事業者がするべきである。事業主体はどこののか。

答 事業主体は決まっていない。基本設計は、事業者を

探したり、首都圏でPRするときに、サ高住の内容を説明するために行つ。

問 旧ミドレークホテル跡地に計画している、サ高住・町営住宅の建設、土地分譲など、まだ未確定要素が多



開発予定の旧ミドレークホテル跡地

く、賛成できない。

答 土地利用の基本計画が出来上がる

ので、場所の問題も含め議会で議論いただき、理解を得て執行したい。

問 町営住宅は、空き家を利用することも考えてみては。

答 ひとつの案として研究していきたい。

桜・花・緑で魅力発信

☆「天女のふるさとづくり」を推進し、3年間かけて、桜を中心に花と緑による東郷湖周辺の魅力向上をはかる。

問 地域おこし協力隊員を配置することだが、活動内容は。



桜コミュニティ入口

答 町内の桜の保護・保全や、市民の緑化活動の推進・支援、花や樹木などの魅力発信を行っていく。

問 専門的な人でないと進んでいけないのでは。

答 花や樹木に精通された方や興味のある方が望ましい。

東郷湖・みらい創造会議のメンバーに樹木医の資格を持った方がおられるので、助言をいただき進めていきたい。

役場の支援体制は

☆平成30年度にオープンする「松崎駅前総合相談センター・お試し住宅」と「多世代交流拠点施設」の管理運営を指定管理事業者に委託する。

問 指定管理委託料の内訳と委託内容は。

答 総合相談センターとお試し住宅

は600万円。多世代交流施設は、秋に完成なので半年分の300万円。総合相談センターは健康管理、移住定住などについて、指定管理者の「湯梨浜まちづくり(株)」で進めてもらう。

問 役場の支援体制をどうしているのか。

答 総合相談センターを進めるうえで、福祉関係課とも協議している。横の連携を取りながら利活用を進めていく。



地域の活性化に期待
(松崎駅前総合相談センター)

期待されるインバウンド化

☆ゆりはま天女ウオークのインバウンド化をめざし、近隣国のウオーキング団体との交流、参加の呼びかけを行う。

また、グラウンド・ゴルフも海外普及を推進し、国際組織の立ち上げをめざす。

問

具体的な事業内容は。

答

ウオーキング事業では、多言語版ウオーキングマップなど



ゆりはま天女ウオークで国際交流

答

宿泊は町内の旅館を使っていたにている。来てもらうばかりではなく、相互交流を進めたい。

問

地元の旅館や商品の売り上げなど、費用対効果は。

答

検討協議会で協議を重ね、泊地域全区で説明してきた。アンケートは58・6%の回収率。アンケート結果を協議会や区長さんと話し、意見をまとめて町に提案する。議会にも報告させていた。

問

これまでの経過や住民アンケートの結果は。議会には何の報告もなかったが。

大きな夢をのせた小さな拠点づくり

☆泊地域に「小さな拠点」を実現させるため、拠点の基本計画、基本設計の実施を予定。また、持続可能な運営方法を検討する。

予算特別委員会の報告 懸念事項に附帯決議

附帯決議

平成30年度湯梨浜町一般会計予算の、次の事項について、予算執行の前に議会へ十分説明のうえで、協議を行うべきであると決議した。

1. コミュニティ施設管理臨時経費については、羽合西コミュニティの今後の施設利用などの全体計画及び耐震化の必要性
2. 生涯活躍のまち推進事業については、旧ミドーレイクホテル跡地の全体計画やサービス付き高齢者向け住宅の事業内容
3. 松崎駅前拠点施設指定管理等経費については、具体的な指定管理者の事業内容

平成30年度予算を慎重に審査し、おもな指摘、意見、要望などを報告した。審査過程で懸念された事項については、附帯決議した。

【主な意見】

新中学校・学校給食センター建設

隣接地対応で工場の移転補償費が計上されている。今後補償費が拡大することが危惧されるので、しっかり対応すること。

コミュニティ施設の管理

羽合西コミュニティの耐震設計は、跡地利用検討委員会の検討結果を踏まえて検討すること。

また、南校舎のトイレ改修は、子どもの目線で考え、設置場所を含め検討が必要。

生涯活躍のまち推進事業

「湯梨浜まちづくり(株)」の経営の中心は、サービス付き高齢者向け住宅やふるさと納税だが、収支がとれるのか。会社がどんな構想を示すのか見極める必要がある。

条例改正

事業者を町が指定

☆湯梨浜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例

介護保険法の一部改正により、県が実施していた指定居宅介護支援事業者の指定を、町が実施することから、平成30年4月1日から条例を制定するもの。

県で一本化

☆湯梨浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法などの一部改正により、国民健康保険の財政主体が、町から県となることにともない一部改正する。

使用料の増額

☆湯梨浜町都市公園条例の一部を改正する条例



利用が増加（東郷運動公園）

支援の拡充

☆湯梨浜町被災者住宅再建支援事業助成条例の一部を改正する条例

鳥取県被災者住宅再建支援条例の一部が改正され、指定自然災害による半壊世帯住宅の新築、または購入支援の新設など、制度の見直しにともない改定する。

介護保険料の増額

☆湯梨浜町介護保険条例の一部を改正する条例

第7期介護保険事業計画の介護サービス給付費の見込量などにより、介護保険料の区分ごとの年

その他

額保険料の改定を行う。

☆公の施設の区域外設置について（上水道施設）

倉吉市から町へ水道供給を受けるため、倉吉市内に水道施設を新たに設置及び布設するための協議書を交わすもの。

人事案件

☆副町長の人事案件に同意。
（敬称略）

◇副町長

亀井 雅議（鳥取市）
仙賀 芳友（佐美）

任期は、平成30年4月1日から平成34年3月31日まで。

本会議での採決結果

議案の内容 （○：賛成 ×：反対）	松岡	浦木	光井	会見	米田	寺地	上野	浜中	増井	竹中	河田	結果
平成30年度湯梨浜町一般会計予算	○	○	欠席	○	○	○	○	○	×	×	○	賛成8人 可決

※議案の採決は、入江議長を除く11人で行います。

※上記以外の55議案は全会一致で可決及び同意しました。

温泉事業 1号源泉を撤去

☆温泉事業経営戦略を、平成29年度に策定した。
現在、分譲宅地や福祉施設への配湯、温泉スタンドや足湯などの事業を行っている。



温泉を有効活用（めぐみのゆ公園）

問 1号源泉は撤去
ということだが、
修理して使えないのか。

答 管が老朽化して
おり、新たに掘削
する必要がある。修理は
考えていない。

問 2号源泉のみの
湯量で、安定した
配湯ができるか。

答 十分な余力はな
いが、源泉の温度
が85度あるので、必要量
を地下水で増やして配湯
する。

問 C C R C 構想
に、配湯する計画
は入っていたのか。

答 構想には、温泉
活用の考え方があ
り、分譲住宅やサービ

付き高齢者向け住宅に活
用できないか検討している。

水道事業計画は

☆水道ビジョンは、安
全な水の確保、地震・
老朽管対策、維持可能
な水道事業経営を柱に
取り組んでいる。

問 水道ネットワー
ク事業は、いつ頃
完成するのか。

また、宇野・宇谷間に
ついても計画しているか。

答 平成29年から始
めており、3年間
をめどに進める。

宇野・宇谷間について
は、今の段階では計画し
ていない。

問 水道管の耐震化
計画は。

答 工法や費用は、
今後検討していく。

落石の危険箇所への対応



急がれる落石対策（羽衣石地区）
写真提供：中部総合事務所

☆一昨年の中部地震
で、羽衣石地区に落石
があったが、民家の裏
山には落石の危険な箇
所があり、その対応に
ついて説明を受けた。
当該地区は、県の治
山事業による対応を想
定しており、県が概略
調査を実施している。
羽衣石地区内の他の
地域では、中部地震以
前にも落石事案があっ
た。この度の箇所と
ともに一つの事業とし
て、国に要望している
が、平成30年度の予算
では難しい状況にある。
今後も事業化に向け
て継続して要望してい
く。



保育士による楽しいお話し会（とうごうこども園）

こども園の運営状況は

☆平成30年度は、特に低年齢児の入園が増えたため、入園調整を行った。

0歳児17人、1歳児8人を中心に入園調整を行い、合計44人の方が第一希望の園に入らなかった。

問 保育士不足があるが、職員体制は整っているのか。

答 平成30年度の職員募集をしているが、保育士の必要配置数に対して、足りない状況。再募集をしている。

問 ファミリーサポートセンター事業を活用しては。

答 同事業は、一時的、緊急的なもの。定期的に塾の送り迎えなどはあるが、長期にわたって、家で預かることは想定していない。

太養保育園の将来的な方向性は

☆太養保育園の入園児数が減少しており、平

成30年度は24人の予定。利用実態に合った利用定員に変更したいと申し入れがあった。利用定員40人を30人に変更する。

問 将来的に存続させるのか、閉園するののか、行政的な指導も必要では。

答 半年に一度、園の状況は伺っている。私立であり、行政指導は越権行為的で難しい。これからも園の要請には支援していきたい。

問 施設設備や特色あるカリキュラムなどを、どのように認識しておられるのか。

答 高齢者との複合施設などを検討されているが、具体的には進んでいない。

羽合西コミュニティトイレ

改修に待った

問 現地調査の結果、排水が逆流するなど、使用できない便器が多く、悪臭もひどいが。

答 洋風便器への交換と、排水経路を迂回させる対策で、利用者には支障がないよう緊急的に工事発注した。

問 設計図をみると、改修後でも使用できない便器がある。悪臭の問題など、根本的な解決にならないが。

答 この施設は、放課後児童クラブの利用以外に、防災拠点でもあり、緊急的な応急措置ということで対応した。



問 トイレが遠くて暗いため、低学年児は行きにくいという声もあるが。

答 放課後児童クラブの支援員や、子どもたちの意見も含めて再確認する。

一般 質問

町政を問う!

3月定例会では、8人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

一般質問は、議員が町の事務の執行状況や将来の方針などを町長や教育長に問うものです。
本町議会の質問時間は、1人60分以内で、質問回数に制限はありません。

質問者	質 問 事 項	ページ
松岡 昭博	1. にぎわい創出に向け町立美術館の設置を	13
	2. ため池の改修をどう進めるのか	13
上野 昭二	1. CCRC構想の方向転換を	14
	2. 将来を担う子どもたちへ、今こそ投資を	14
会見 祐子	1. 後期高齢者の人間ドック実施を	15
	2. ケータイ・スマホの指導は	15
竹中 寿健	1. 無形文化財の継承と今後のあり方は	16
	2. ふるさと民話、伝説の湯梨浜町版を	16
増井 久美	1. 基金の活用を	17
	2. 町営住宅の場所は	17
米田 強美	1. 「生涯活躍のまち」官民の連携は	18
	2. 未払い工事のその後は	18
浦木 靖	1. 人権問題に対する町の取り組みは	19
	2. 労務管理は適切か	19
浜中 武仁	1. 町政運営の評価と課題は	20

にぎわい創出に向け 町立美術館の設置を



まつ 松 ひろ 博
あき 昭

町長

町文化祭で展示しては



絵画に見入る来訪者（中石美術館）

【問】昨年、中石美術館で油絵展が開催された。郷土出身、森岡画伯の絵を紹介しようとして、町に貸し出しをお願いしたが断られたという。

①町所有美術工芸品の貸出規定を作り、町主催以外の展示会などに貸し出ししたり、町が直接出展してはどうか。

②桜コミュニティや松崎駅前の多世代交流施設などを活用して町立美術館を設置し、町所有美術工芸品や個人所有品を展示したり、町内美術愛好者の作品展の会場などにし

【町長】②美術品の展示、保管には、多額の整備・維持費用がかかり、町の常設美術館を設置することは困難。

毎年、町文化祭をやっている。

何年かに一度、優れた作品を展示するなどの方法が現実的な対応になる。

【教育長】①貸し出しにあたっては、町財務規則により対応している。

公共の利益に資するものであれば、柔軟で適切な対応で取り組みたい。

ため池の改修をどう進めるのか

町長

地元と協議

【問】ため池は、農業に必要な施設であるが、老朽化が進行する中、機能の保全と次世代への継承が重要な課題となっている。

①田元ため池（漆原）、奥ため池（宮内）、西谷ため池（埴見）について、以前から、改修や浚渫などの要望が出ている。なぜ、工事ができないのか。今後どう対応するのか。

②町は、地域の農業などをを守るため、集落に向いて、ため池改修などの施策を説明したり、独自の支援策を設けるなど、積極的に対応すべきでは。

【町長】①漆原のため池は、改修を行うよりも廃止を視野に入れ、水路整備を有利に行なえるよう検討していく。



流出水で浸食された堤体（漆原）

宮内のため池は、県営事業により、防災計画への位置づけなどを含めて協議を行っている。

埴見のため池は、土砂堆積が相当な量となっており事業化が難しい状況である。

下流は耕作地が多くあり、受益者の負担など地元と協議して事業化に向けて進めたい。

②地元の方には、よく現

状などを説明しながら協議するとともに、必要な措置を早くとっていく。

CCRC構想の方向転換を

町長

全体計画は見直し中



うえの しょうじろ
上野 昭二



サービス付き高齢者向け住宅と
町営住宅の建設計画を再検討
(旧ミドレーイクホテル跡地)

【問】本町のCCRC構想は、都市部のアクティブシニアを呼び水とし、そこに付加価値を生み、人口増加と活性化を、期待することだと認識する。しかし、ここにきて構想は、大きな曲がり角にきていると思う。

現在、町と「株」コミュニティネット」、「湯梨浜まちづくり(株)」との相互関係に、すきま風が吹いている。

特に、指南役の「株」コミュニティネット」の協力が得られなければ、構想はとん挫し迷走する。早急に軌道修正、方向転換すべきでは。

【町長】「湯梨浜町版生涯活躍のまち」は、地方創生のひとつとしてCCRC構想が有効な手法だと考え推進している。松崎地区の方に協議会を作っていたとき、「湯梨浜まちづくり(株)」と議論を交わしていた。松崎駅前総合相談センターとお試し住宅、多世代交流拠点の一体的ソフト事業について、「同社」で協議をしている。全体計画は、適宜見直し検討中である。

【問】昨年、ひとり親家庭へのアンケート調査が実施され、報告書がまとめられた。それによれば、子どもの将来への不安や、教育費などの経済的不安を訴えている。

これは、ひとり親家庭に限った話ではなく、多くの子育て家庭の問題であり社会問題でもある。これをどう解決するかが、社会全体に問われていると思うが。

現行の支援制度で、利用率が低いものは精査し、利用しやすいものにしなければ、意味がない。今こそ、子どもたちに熱い支援で、投資すべきと考えるが。

【町長】経済的不安解消のため、就労による安定収入確保と子育て時間の確保の両面からの検討が必要。

子育て世代への環境を整えるため、さまざまな子育て支援事業を実施し、改善点があれば見直し充実させていく。

【教育長】高校生については、国、県において就

学支援金制度が創設され、授業料無償、住民税非課税世帯には、給付型奨学金制度も設けられている。

町では、平成30年度から就学援助要件を満たしている生徒を対象に、給付型の奨学金制度を新たに創設。

本町の貸与型奨学金制度は、県の制度の補完であることと理解していた。た



給付型の奨学金制度で
高校生を支援

将来を担う子どもたちへ、 今こそ投資を

教育長

給付型の新制度を創設

後期高齢者の 人間ドック実施を

町長

セット検診で対応



あい 会 見 さち 子



健康づくり教室
(長瀬中部ゆりりんサロン)

【問】健康寿命を伸ばすために、健康教室、認知症予防事業などが行われているが、向上しているか。

後期高齢者の健康診査受診率は、県平均が22・85%であったが、本町の状況は。

歯科健康診査は、平成28年モデル事業で、大幅に向上した。

後期高齢者対象の人間ドックも実施すべきである。

【町長】本町では、長寿健診・歯科健康診査・健康相談などを実施。高齢者向けの健康や介護に関する教室・サロンなど、回数も年々増加傾向。本町の後期高齢者受診率は14・53%。健康への意識や健診の必要性の認識向上に一層努力する。

後期高齢者対象人間ドックの要望は少ない。本町では町内集団健診で、健康診査と各種がん検診が同時に受診できる「セット健診」と「医療機関健診」を実施している。

【問】社会の変革で、情報通信社会の発展は、さまざまにある。

高校生活を送るには、ケータイ・スマホは100%必需品であるという。小学生、中学生の使い方の指導はできているか。

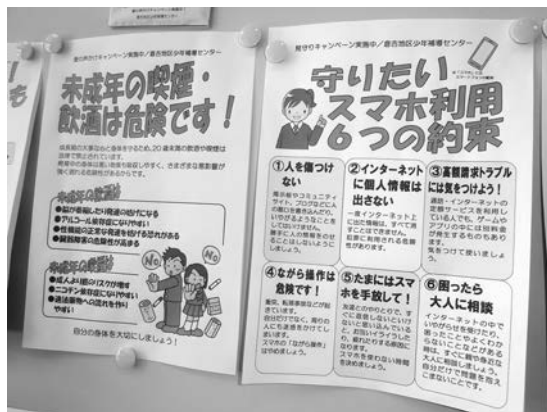
家庭では、親子でゲームをする状況だが、保護者会で協議されないのか。約束事が守られているか問う。

他町の高校生サークルでは、後輩に教え、活動しているが、本町では、取り組みとはできないか。

教育長

学習の中で指導

ケータイ・スマホの指導は



守ろう 6つの約束
(倉吉地区少年補導センター)

【教育長】学校教育では、さまざまな学習の中で、メディアとの付き合い方を指導している。保護者の方に対しては、購入にあたり事前に子どもと約束する「ペアレンタル・コントロール」を学んでいただいている。

また、県PTAの「メディア21:00」運動に本町の小中学校も参加し、「基本的な生活習慣」を崩さないよう啓発をはかっている。

高校生が後輩を指導している取り組みは、本町でも学校教育、生涯学習の両面から検討したいと考えている。

無形文化財の継承と 今後のあり方は

教育長

地域一体で保存に努力



中村 健太

【問】県指定の東郷浪人踊り、町指定の数団体の無形文化財がある。その地域に根づいた伝統的な踊りなど、貴重な文化財を次世代に引き継いでいく責務がある。

現在、それぞれの団体で独自の活動が行われているが、近年の少子高齢化により、会員の高齢化も進み、会員数も減少の一途をたどっている。保存会の存亡の危機と言っても過言ではない状況だと思ふ。

文化財継承の基本的方針と今後のあり方、対策について問う。



伝統芸能（宇野盆踊り）

【教育長】町内には、県指定の東郷浪人踊り、田後神社頭屋祭「宮の飯」、宇野三ツ星踊り、泊貝がら節など、無形民俗文化財が伝承されている。風習や民俗は地域の宝である。町の宝として後世に受け継いでいきたい。

後継者問題は総合的な観点から、「熱意のある人」の存在が重要である。用具の老朽化による維持補修費や、新規購入費など負担の大きい文化財には補助金を交付している。

小中学校では積極的に取り組み、地域一体で保存に努力する。

ふるさと民話、

伝説の湯梨浜町版を

教育長

発掘・収集し検討

【問】近年、地域社会や家庭などの環境が大きく変わり、地域の中でも子ども同士や異年代の間わりも希薄化し、昔からの伝承文化が失われつつあると指摘されている。

町長は年頭のあいさつで、地元の民話の紙芝居や絵本などを作成したいと述べられた。

本町においては、各地域で民話や伝説など冊子として残されているが、湯梨浜町版は作成されていない。

ぜひ、この機会に次世代への継承事業として、湯梨浜町版を作成される考えは。



小学生が作成した民話集

【教育長】民話や伝説は意識して語り継がねばならない。

図書館では、平成30年度予算で、湯梨浜町に伝わる昔話、民話、伝説を題材とした紙芝居や絵本を鳥取短期大学の協力で作成する。

また、記録化されていないものがあれば、発掘

・収集し、民話、伝説の湯梨浜町版を作成するか検討したい。

基金の活用を

町長

さまざまな事態に 対応可能な備えをする



増井 久美



学校給食の無償化を

【問】平成28年度決算によれば、本町は62億円という基金がある。経済財政諮問会議などで、地方自治体の基金残高を問題視し、地方財政削減にっ
なげようとする言動が相
次いだ。基金をめぐる主
張の主眼は地方交付税の
削減であり、不当なもの
である。

【町長】地方交付税の特
例措置が、平成32年度ま
で続く。各種基金は、交
付税減額や災害、公共施
設の老朽化対策などに備
え、積立している。

また並行して、多様化
する諸課題へ対応するた
め、借金の繰り上げ返済
も行っている。

ただ、本町の基金残高
は県内でも2番目に高
く、これは住民の暮らし、
福祉に使うべきである。
学校給食の無償化や徴
収事務を町で行う、ま
た、高齢者へのタクシー
チケット補助などを行っ
てはどうか。

【教育長】学校給食の無
償化には、毎年約800
0万円が必要。継続的な
財源確保が難しいため、
導入は考えていない。
給食費の集金事務は、
新給食センターに新シス
テムを設置し、学校の負
担軽減をはかりたい。

町営住宅の場所は

町長

旧ミドレーイクホテル

跡地が適地

【問】町営住宅を旧ミ
ドレーイクホテル跡地に
建設することについて
は、議員の中でも多くの
異論が出ている。アン
ケートにより方向を定め
るということだが、アン
ケート内容に問題があり
はしないか。

旧ミドレーイクホテル
跡地の購入は「湯梨浜ま
ちづくり㈱」が行うのか。
サービス付き高齢者向
け住宅（サ高住）の運営
と宅地開発はどこが行う
のか。町としての責任は
どこまでなのか。

町と「同社」のそれぞ
れの責任のあり方が曖昧
であり、はっきりさせる
べきではないか。



町営住宅の移転候補地
（旧ミドレーイクホテル跡地）

【町長】町営住宅は老朽
化が進み、建て替えなど
が迫られている。

住民アンケート調査

は、旧ミドレーイクホテ
ル跡地が適地と考え、需
要調査も兼ね実施した。

その結果、20世帯の入
居希望者があった。

また同地では、サ高住
の建設運営も協議中で、

運営収支などを検討し、
規模や事業主体を探り
「湯梨浜まちづくり㈱」
に限定せず、他の事業者
も可能と考える。

そして、各事業者の各
種取り組みは、それぞれ
が結果責任を持ち、計画
実施することとしたい。

「生涯活躍のまち」 官民の連携は

町長

連携強化をはかる



米田 美 強



協力体制が問われる総合相談センター

【問】①「生涯活躍のまち」は、「湯梨浜まちづくり(株)」が事業の推進をし、町が協力すると理解している。官民連携についての考え方と、連携体制を問う。

②松崎駅前総合相談センターは、多世代支援のワンストップ窓口として、関係事業者や医療・福祉機関との協働が必要である。町の協力体制と、指定管理の契約とあわせ、運営方法を問う。

③旧ミッドレーイクホテル跡地を、町営住宅などの建設地に選んだ理由を問う。また、「同社」の関わりと推進方法を問う。

【町長】①「湯梨浜まちづくり(株)」は、「生涯活躍のまち」を推進しているため、官民協働の株式会社として設立した。昨年10月からは担当室と定例会議を毎週1回開催し、連携の強化をはかっている。

②松崎駅前総合相談センターは、指定管理者として「同社」が運営し、観光情報発信などの業務を担っていただく予定。

③「生涯活躍のまち」を推進していく要素に、サードビル付き高齢者向け住宅や分譲宅地などがある。基本調査結果なども踏まえ計画した。

未払い工事のその後は

町長

支払金額の確定作業を進めている

【問】平成26年から28年にかけて実施した、土地改良工事と原材料支給業務において、不適切な事務処理により工事代金が未払いになっていた。

昨年の12月議会で、支払いのための補正予算を可決したが、その後の対応を問う。



水田の土地改良工事

施工内容と施工状況の確認が済み、支払い額は決定したか。

また、検査員の再任用については、検討したのか問う。

工事終了後の支払いについて、工事業者から遅いとの声を聞いたが、支払い方法が原因との答えであった。見直しを検討したのか問う。

【町長】問題となった工事の支払いに向け、12月21日に検査チームを設けた。現在、支払金額の確定作業を進めている。

再任用職員を工事検査員としての採用は、人材確保などの問題があり結論を出していない。

工事代金は、支払い請求を受けてから40日以内に支払うことが法に定め

られている。

2月末までの100万円以上の工事代金について調査したところ、全て30日以内に支払われている。現在行っている月2回の支払い期日の設定で問題はない。

人権問題に対する 町の取り組みは

町長

積極的に取り組む



うら 木 靖
浦 木 靖



人権問題を熱心に学習
(ゆりはま人権セミナー)

【問】①全国では、尊い子どもたちの生命が自死などによって失われている。学校に悩みを相談しても、真剣に取り組んでいなかったなどが大きな原因でもあると思うが、本町の現状は。

②高齢者の虐待は、なかなか表に現れない場合が多い。そのような中、高齢者の人によく接触する人の協力を得ながら尊厳を守る必要があるではないか。

【町長】②高齢者が尊厳を持って暮らせるよう、介護保険サービスや高齢者福祉、権利擁護などの施策を進めることで、「みんなが主役笑顔あふれる湯梨浜町」の実現に向けて取り組んでいきたい。

【教育長】①初期段階のいじめ把握に努めていて、「ひやかし」「からかい」「悪口」もいじめと捉え、「いじめの認知件数」は年々増えている。

②現在、学校では社会福祉協議会などの協力により、高齢者の目線に立った学習機会の充実に努めており、引き続き実施していきたい。

労務管理は適切か

町長

時間外勤務の縮減をはかる

【問】①労働力年齢もあがってきて、現在では70才位まで現役で働ける体力・知力も維持されている。民間企業では、65才まで雇用するところが多くなったが、地方公務員に対しては、どのように考えているのか。

②今でもサービス残業と言われている手当のつかない時間外労働が行われているのか。

【町長】①湯梨浜町職員の定年等に関する条例第3条で、国家公務員法の規定に準じ、職員の定年は60才と定めている。

②近年、働き方改革が叫ばれ、職員の時間外勤務の縮減が求められる。労務管理を徹底するとともに、必要人員の確保や職員の資質向上などの取り組みにより、時間外



部活動を指導する顧問の先生
(東郷中学校)

勤務の縮減をはかっている。

【教育長】②教職員の多忙化の解消と負担軽減をはかるため、県教育委員会と連携して、「学校業務改善プラン」に取り組みたい。

町政運営の評価と課題は

町長

持続発展可能な町をつくる



はまなか とし 仁
浜 中 武 仁



お試し住宅で移住を促進（まつぎ屋）

【問】これまで、松崎地区の多世代地域交流拠点施設や総合相談センターの建設、移住・定住の促進、泊地域での小さな拠点の整備に向けた検討、防災力の強化など積極的に多くの施策に取り組んでこられた。

【町長】この4年間、天女のふるさとづくり、新中学校の建設、地方創生、県中部地震復興などに取り組んだ。

平成28年度には、新中学校建設に着手。地方創生では移住・定住促進のため「湯梨浜まちづくり（株）」を設立した。

松崎駅前にお試し住宅及び総合相談センターを建設。

町は独自性のある大きな施策を推進中であり、しなやかで持続的発展可能な町にするため引き続き町政を担当したい。

請 願 ・ 陳 情 審 査 結 果

3月定例会で審査した請願・陳情の審査結果を報告します。

件 名	請願・陳情者	審査結果
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願	ヒバクシャ国際署名をすすめる鳥取県民の会代表 鳥取県原爆被害者協議会 会長 田中 一郎	継続審査
子どものいのちと健康を守るための設備改善に関する陳情	学校における子どものいのちと健康を考える会 代表 谷口善一郎	採 択 全会一致
医療機関の診療録開示請求手数料に係る指針について（陳情）	足羽 佑太	採 択 全会一致 （国に意見書を提出）
憲法9条改定の取組みの中止を求める意見書採択の要請について	湯梨浜9条の会 代表 信原 和裕	継続審査

専決処分の承認を否決



2月19日の臨時会で、羽合西コミュニティ施設を、(株)センコースクールファーム鳥取に貸しているが、事業の拡大のため、中庭部分を追加で貸し付けすることを専決処分したことに對して、議会は否決しました。

また、一般会計補正予算、松崎駅前総合相談センターの設置条例、ゆりはま暮らしお試し住宅の設置条例も提案され、賛成多数で可決されました。

専決の理由は

問 なぜ専決処分したのか。

答 昨年に(株)センコースクールファーム鳥取から、土地の貸し付けの打診があった。場所の選定が二転三転し遅れ、早期に着手したいため専決した。

子どもたちの安全確保は

問 同施設は、放課後児童クラブも利用しており、校舎棟の入り口部分まで貸し付けするのは容認できない。

答 通路として使用するもので、センコーが独占的に使うことではない。子どもたちの活動と安全に配慮し協議した。

問 教育委員会に、はかつて進める必要がある。

また、議会にも報告し、課題を共有するべきだ。

答 教育委員会と議会に、はかるべきだったと反省している。

2月20日の教育委員会定例会で報告と協議をしたい。

企業優先か

問 現在のトイレは和風で老朽化している。怖がって一人でトイレに行けない子もある。以前よりトイレを中庭に作ってほしいとの要望があるが、中庭を貸すのは、子どもより企業を優先しているのではないか。

答 子ども第一という観点で考えている。ト

イレの洋風化は、すでに取り組んでいる。怖いという子どもには、支援員が付き添い、残っている子どもにはほかの支援員で対応できている。

質疑終了後の討論では、今回の土地の賃貸借は子どもたちにプラスはなく、口約束の部分も書面で交わすべきであると、反対討論があった。

討論後に採決し、賛成少数で承認しないことに決定した。

3月定例会では、2月臨時会での質疑を考慮し、入口付近と中庭の一部の貸し付けを減らす議案が提出され、承認された。

しかし、専決処分については問題はなかったと、教育総務課長は終始答弁を繰り返した。

採決結果

議案の内容 (○：賛成 ×：反対)	松岡	浦木	光井	会見	米田	寺地	上野	浜中	増井	竹中	河田	結果
専決処分の承認を求めることについて	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	賛成4 反対7 否決

高浜遺跡

問 高浜遺跡（復元古墳）を、歴史公園として整備しては。

答 教育委員会と協議したい。

保育士の確保

問 現在、在宅で保育する家庭に月額3万円支給しているが、その費用対効果は。

保育士不足も常態化しているが、その対応は。

答 家庭での子育ては、給付金を受け安心して子育てできる環境に寄与している。保育士確保は、引き続き努力していく。

横断歩道

問 旧ミドレーイクホテル跡地付近の三叉路に、信号機を設置してほしい。

答 新中学校の建設もあるので、行政と一緒に要請したい。

松崎駅南梨事業

問 町の運営でもない事業に、町から多額の費用が支出されるのはなぜか。

答 町が行うのは造成部分。その後は、JA梨部会が事業を推進する。

高齢者住宅整備事業

問 旧ミドレーイクホテル跡地に分譲住宅や高齢者住宅の建設が予定されていると聞く。必要性が十分議論されているのか。

答 現在、検討中であり、議会が得た情報は、議会広報などを通じてお伝えしていきたい。

国道179号バイパス

問 179号バイパスについての情報が区のほうに早めにほしい。商店への悪影響、マイナス影響を最小限にしてほしい。

答 早めに区の方の意見も伺うようにしたい。バイパスができ、衰退する部分が無いように考えていきたい。

松崎駅前旧Aコープ跡地

問 ①松崎駅前総合相談センターを建設後の運営は誰がするのか。

②CCRCでどこか参考にされているのか。

答 ①運営を含め湯梨浜まちづくり株式会社が、責任をもってやっていくと理解している。

②町はコミュニティネットと連携し、視察も行っている。

泊づくり

問 住環境の整備、こども園の統合など、泊づくりをもう少し議論していただきたい。

答 現在、泊地域小さな拠点検討協議会での検討が進行中である。

町営住宅

問 町営住宅がどのようになるのか、松崎一区の運営に大きくかかわってくる。十分に配慮してほしい。

答 検討段階であり、ご意見をいただきたい。

旧ふじつ荘

問 廃墟になっていて防犯上も心配な面が多く、安全策を取ってほしい。

答 現在、裁判中であり手が付けられない。

空き家対策

問 地震の影響で危険な空き家があり、撤去の要望が地域住民から上がっている。

答 解決に向けて、行政と共に努力していきたい。

獣害対策

問 畑は大小分散しており、共同電気柵が設置できていないので、何とかならないか。

答 何軒か集まれば、飛び地でも30%の負担で済む補助金がある。（住民意見）

猟友会などをお願いし捕獲してもらい、頭数を減らすことに力を入れたい。

住民と議会の意見交換会

平成29年11月に開催した「住民と議会の意見交換会」では、さまざまなご意見やご提言をいただきました。第57号で掲載できなかった、ご意見やご提言に対する回答を紹介します。

※議会ホームページにも会議録等を掲載しています。(http://www.yurihama.jp/)

先進地視察

- 問 議員だけでなく、行政の方も一緒に同じ視点で見て、一体となって取り組んでほしい。
- 答 重要事項は行政側も同行する。提言や提案が形になることをめざして視察することは大事。

議会活動の効果

- 問 議会費は8700万円前後計上。関係事務費を加えると、年間1億円を超える。費用に見合う効果や価値がどのように出ているのか。
- 答 費用対効果の評価は、しにくい。議会広報紙やケーブルテレビなどを通して評価していただければと思う。

主権者教育

- 問 18才選挙権後も投票率は低迷し、若者層への主権者教育の必要性を感じる。議会も率先して取り組み、休日議会などの検討を。
- 答 いろいろな機関と連携し進めたい。以前取り組んだ子ども議会、休日議会も含め、新しい方法の調査や研修を行う。

町議会体制

- 問 町議会議員のなり手がいない。定数を削減し、報酬や調査費の増額をすべき。
- 答 継続して、調査し検討する。

ドラゴンカヌーへの参加

- 問 議員のなり手がなく、町民のために、お任せしたい部分はすごくある。一つの船に乗って元気でがんばる姿を見せてほしい。
- 答 出場は検討したい。

行政に専門職を

- 問 行政に、社会福祉や児童福祉、社会教育の専門職をおいてほしい。
- 答 町は、募集をしているが応募が少ない。

専門的な職員の配置

- 問 ネウボラ対応など、専門的な職員の配置を。
- 答 行政に強く要望する。

東郷中学校の跡地の文化財

- 問 東郷中学校の跡地は、埋蔵文化財があるがどのようにされたのか。
- 答 教育委員会と協議したい。議会跡地利用検討委員会で検討したい。

体育館の使用料

- 問 ①羽合西コミュニティの体育館に外灯を設置してほしい。また、体育館の水銀灯が多数切れている。
- ②体育館の使用料を予約で前払いしているが、不使用時は見直してほしい。
- 答 ①教育委員会へ外灯は要望し、水銀灯は交換対応した。
- ②その他の人が予約できないので、難しい。

学校関連

- 問 ①新中学校について、運営にかかるソフト面を充実してほしい。
- ②両中学校の跡地は、住民が集えるような整備や管理を。
- 答 ①教育委員会へ強く要請する。
- ②議会跡地利用検討委員会で検討したい。

町民インタビュー

鳥取の自然のなかで子育て

あおぞら自主保育の会木とねっこ
三村 ^{わか} 稚賀さん（田後）



2009年に結婚を機に、出身の兵庫県から夫の実家のある湯梨浜町に移り住み早9年。現在は5歳と3歳の2児の母です。

鳥取での大学時代に子どもたちの自然体験キャンプにボランティアとして関わって以来、鳥取の豊かな自然の中で子育てをしたいという思いがありました。そこで同じ思いをもつお母さんたちと2014年に「あおぞら自主保育の会木とねっこ」をつくり、親たちの見守りのもとで中部地域の海や森や自然公園で0歳から5歳までの13人程度の子どもたちが週に2～3回遊ぶ、森のようちえん型の自主保育を行っています。

野花や土、水、自然の中ではあらゆるものが子どもたちの遊び道具で、特別な遊具などなくても遊び続けるその姿は豊かで生き生きとしています。大空のしたで親も過ごしていると自然と

おおらかな気持ちになり、日頃の小さな悩みも吹き飛ぶようです。

また、年に数回は桜コミュニティ施設などで子どもの冒険遊び場「木とねっこプレーパーク」を催し、主に小学生以下の子どもたちが『自分の責任で自由に遊ぶ』をモットーにたき火や木工や端材工作をしたり、土や泥に存分にふれながら遊びこむ場となっています。子どもたちの外遊びの不足は都会も田舎も変わらない現状があります。

今後も、遊ぶ子どもたちを真ん中に、多年代が自分らしくいられる場づくりを続けていけたらという思いです。



編集後記

森友・加計問題から大相撲、レスリングパワハラ問題、行政文書問題。付度と政治家との関係。世の中、実に話題豊富である。

首都圏集中打破を掲げ地方創生へと舵を切った。自治体政策に形式的な目標達成主義と過剰な目標崇拜に陥った。少し冷静に考えてみる必要がある。

少子高齢化が大問題とメディアも危機感をあおる。本当に人口減少は最悪の結果を招くのだろうか。経済の活性化が必要だとしても、住民と一緒に地域政策を語り議論して、何を取り入れるかが大事なこと。

単純な雇用創出というより、地域で金が回る仕組みと、人口が増えなくても安心して暮らし続けられる支え合いの仕組みをどう作るかが大切である。

（記 光井）

【編集】

議会広報常任委員会